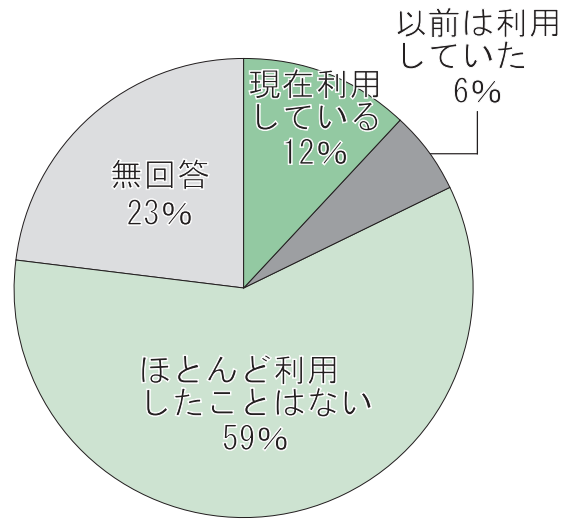


バス利用状況について



あなたは現在、日光市内を走るバスを利用していますか？ または利用していたことがありますか？

市では、これからの市営バス運行の基本的な指針となる「日光市営バス運行計画」の見直しを進めています。計画策定の基礎資料としてバス運行に関する現状や要望を知り、市民の皆さんの声をできるだけ反映させるために「市内バス運行に関する市民意識アンケート調査」を実施しました。

今回は、調査した項目の中から、特に関心が高いと思われるものについてお知らせします。

- 市内のバスを「現在利用している」と回答した方は12%、「以前は利用していた」という方を合わせると18%となり、59%の方が「ほとんど利用したことがない」と答えています。
- 「現在利用している」、「以前利用していた」と答えた方のバスを利用する主な理由（複数回答）
- 他に利用できる交通手段がない（46%）
 - バス停が自宅の近くにある（41%）
 - 目的地が遠い（39%）
 - バスは安全である（23%）
 - 「バス停が自宅の近くにある」、「バスは安全である」という点ではバスの利便性が評価され、一部の市民の足として利用されていることが分かります。
 - 「ほとんど利用したことがない」と答えた方の主な理由（複数回答）
 - 自由に使用できる自動車がある（82%）
 - 家族が目的地まで送迎してくれる（20%）
 - バスを利用したことがない方の多くは、現時点ではバスサービスを必要としていないことがうかがえます。
 - 「バスを利用している」と答えた方のバスを利用して外出する場合の主な目的（複数回答）
 - 病院に行くため（51%）
 - 買い物に行くため（50%）
 - 通勤・通学するため（21%）

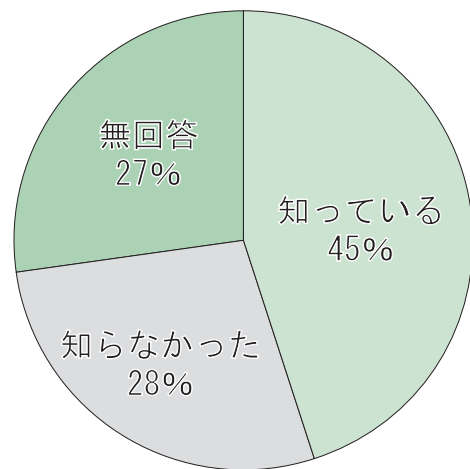
赤字バス路線について

現在、市内には利用者が少ないため県や市からの補助金で運行されている赤字バス路線があります。市からの市営バスおよび民営バスへの補助金は年間約1億円であり、バスを利用しない方も含めて市民1人当たり換算すると約1,000円の負担となっています。

しかし、バスの利用者は年々減少しており、今後バスサービス確保のために市が負担する補助金の額は増加していくことが予想されます。

このような状況を踏まえた上で、赤字バス路線維持に関して皆さんの意見をお聞きました。

あなたは市内において赤字バス路線があることを知っていますか？



約半数の方が赤字バス路線があることを知っていましたが、一方で28%の方は知らなかったと答えています。

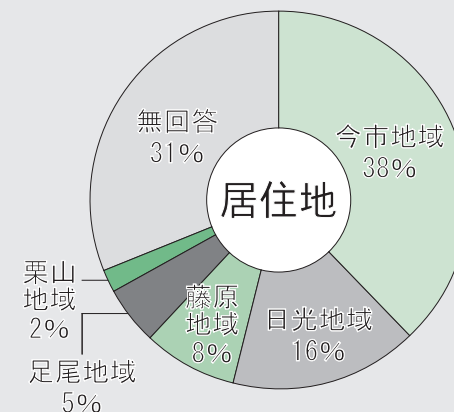
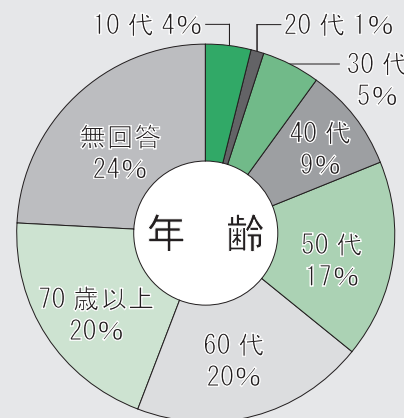
市内バス運行に関する 市民意識アンケート調査の結果



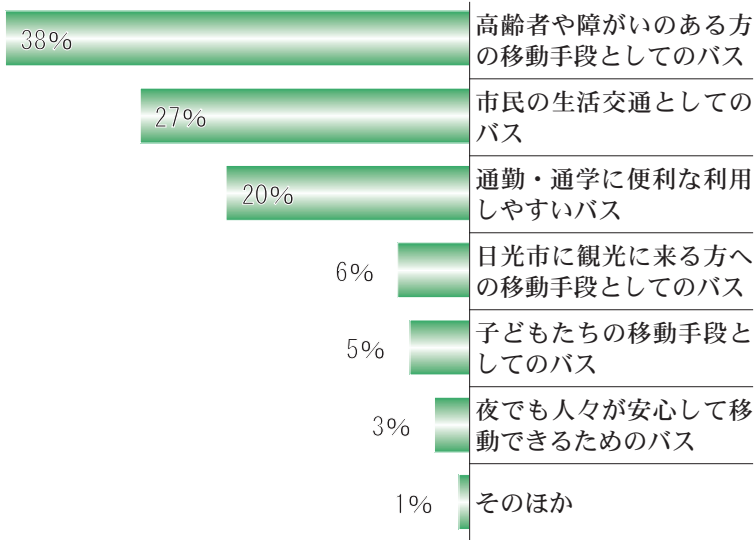
◆調査の概要◆

調査対象 市内在住の方
調査方法 自治会を通じての配布および回収
配布時期 平成19年10月下旬
回収時期 平成19年11月中旬～下旬
配布数 3,000件
回収数 2,373件（男性1,281件 女性1,092件）
回収率 79%

◆回答者の内訳◆

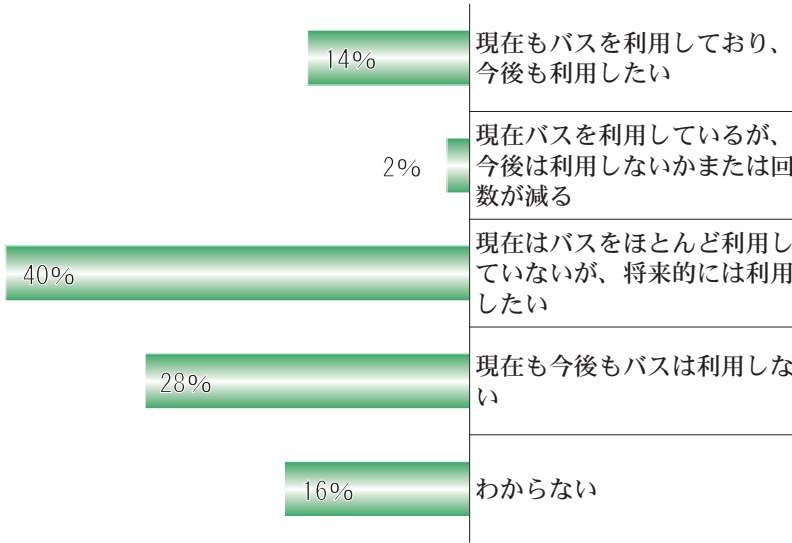


将来のバスサービスについて



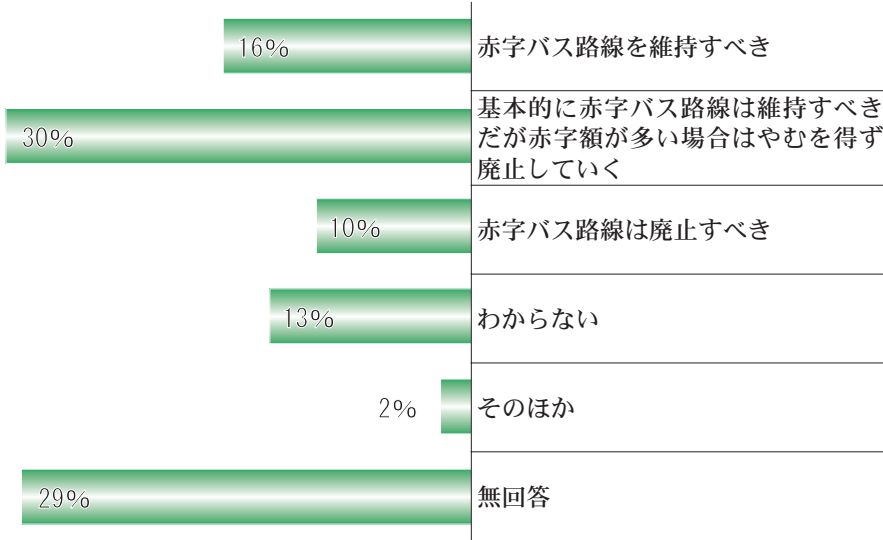
あなたは今後、市の路線バスについてどのような観点から議論・検討されるべきとお考えですか？

「高齢者や障がいのある方の移動手段としてのバス」と回答した方が38%、「市民の生活交通としてのバス」と回答した方が27%、「通勤・通学に便利な利用しやすいバス」と回答した方が20%と多いことが分かりました。路線バスは運転できない方の移動手段として、また日常生活に不可欠なものとして議論・検討されるべきと考えている方が多いのではないかと考えられます。



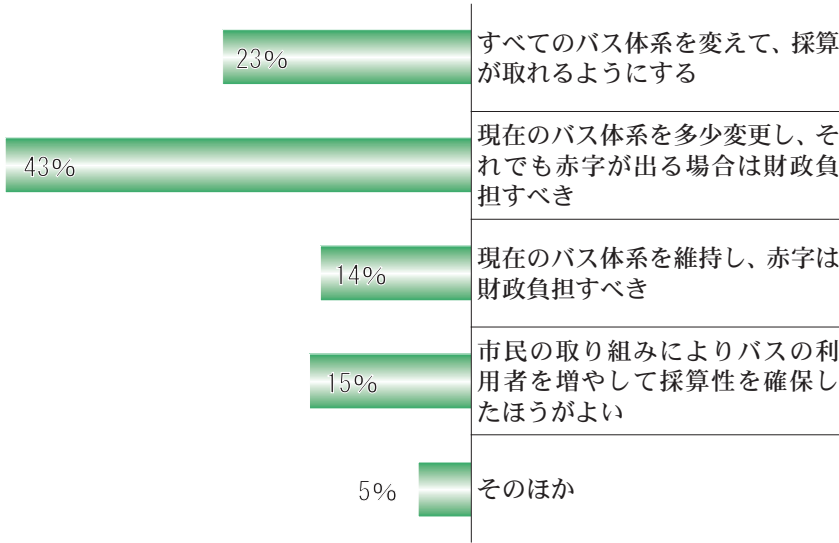
あなたは将来、バスを移動手段として利用したいと考えていますか？

「現在バスを利用しているが、今後は利用回数が減る」と回答した方は2%にとどまるのに対し、「現在はバスをほとんど利用していないが、将来的には利用したい」と回答した方が40%にのびりました。高齢になり、自動車の運転が困難となったときに公共交通サービスを利用したいと考えている方が多いのではないかと考えられます。



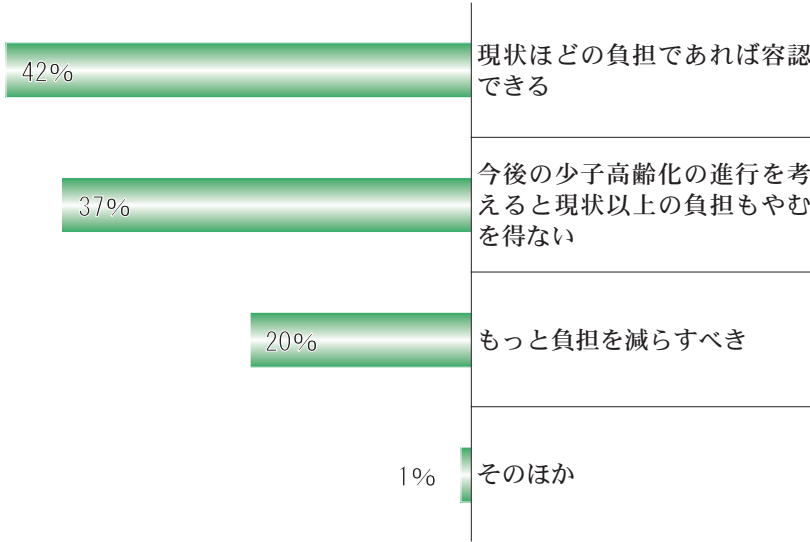
あなたは現在の赤字バス路線を維持していくことに関してどうお考えですか？

「赤字路線を維持すべき」と考えている方は全体の16%で、「廃止すべき」と回答した方は10%でした。また、「基本的に赤字バス路線は維持すべきだが赤字額が多い場合はやむを得ず廃止していく」と考えている方が一番多いことが分かります。



赤字バス路線を維持していくためにはどのような方法がよいと思いますか？

「現在のバス体系を多少変更し、それでも赤字が出る場合は財政負担すべき」と回答した方が43%いました。また、「すべてのバス体系を変えて、採算が取れるようにする」と回答した方が23%で、何らかの見直しを行って採算性を改善すべきであると考えてる方が多いことが分かります。



バス路線の赤字を市の財政で負担する場合、市民の皆さんが納めた税金が使われています。市民の公共交通手段の確保という観点から、財政負担の大きさについてどうお考えですか？

「現状程度の負担」または「現状以上の負担を認める」方が8割近くとなりましたが、一方で20%の方が「もっと負担を減らすべき」と回答しています。



皆さんの公共交通の確保・充実を目指し、新たな公共交通体系づくりを進めます。

今後、市ではこのアンケートの結果とバス路線の現状を分析し、市全域におけるバス路線の見直しを進めます。

調査結果については、生活安全課および各総合支所市民課の窓口で閲覧することができます。

この記事についてくわしくは
生活安全課 生活安全係

☎(21) 5112